

会長報告

2012年6月9日(土)

於：香港日本人倶楽部

会長挨拶

香港日本語教育研究会会長

梁 安玉

皆様

本日は貴重な休日のお時間をお割きくださり、NPO法人「非営利団体」である日本語教育研究会第
四回総会にご出席いただきまして、心から御礼を申し上げます。

昨年3月11日の東日本大震災から一年あまり経ちましたが、日本の各方面における復興はかなり
進んでいるということで、たいへん嬉しく思っております。

さて、香港日本語教育研究会はNPO法人「非営利団体」として日本語教育・日本研究の教育関係
者・研究者の方々との学術・教育交流を進めていると共に、香港における日本語教育の促進に力を
注いでおります。

近年、香港における年少者向けの初等、中等日本語教育は年々盛んになりつつあります。中学校、
高校だけではなく、小学校でも日本語教育を実施しているところがあります。今後、香港における
日本語教育はより幅広く、学習者はより年少化されていくのではないかと考えられます。周知のよう
に、香港では2009年度から、日本語は新しい高校教科の選択科目として取り入れられています。第
一回目の試験は既に2011年末に行われました。当研究会は高校で実施している日本語教育の現状を
把握するために、一昨年の2009年から初めて行った「香港高校日本語教育実況」に引き続き、2011
年11月に、第三回目の「香港高校日本語教育実況」アンケート調査を行いました。これらの調査結
果に基づいて、香港の中等日本語教育における問題や困難を探究し、解決方法を模索できたらと思
っております。

なお、高校生の学習者の学習意欲を高めるために、日本語成績優秀者の奨学金と日本研究関係の
プロジェクト賞を設立しました。9月に、高校生5名、副学士学生2名、高等文憑課程学生2名に
日本語教育研究会奨学金、それに、高校生2グループ、副学士学生2グループにプロジェクト賞を
授与しました。今後、香港における中等日本語教育はより盛んになっていくと期待されています。

さらに、海外との交流においては、日本語教育研究会は、「日本語教育グローバルネットワー
ク」の一員として、日本、中国、韓国、台湾、アメリカ合衆国、オーストラリア、欧州、カナダの
各国の日本語教育の専門家や研究者の方々との交流に努めております。これによって、世界各地
との双方の学術及び教育交流、そして、世界的な視野を持つ香港日本語教育の更なる普及と振興に
貢献できましたら幸いです。

最後になりましたが、この場をお借りしまして、今一度、在香港日本国総領事館、国際交流基金、そして会員の皆様方の暖かいご支援、ご協力に心より御礼を申し上げます。また、理事の皆様、各委員会の委員の皆様と事務所の職員の皆様のご尽力のおかげで、2011年の研究会の業務が順調に運ばれましたこと、心より感謝いたしております。

今後とも、倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以下、2011年度の本会の活動報告をまとめました。

2011年度 活動報告(2011年1月1日～12月31日)

- 1月6日～9日 国際交流基金浦和日本語国際センターにおいて、J-GAP 国際企画会議に参加し、「香港と日本の共同プロジェクト」について会議をしました。
- 2月26日 日本語教師セミナー&ワークショップ
テーマ：初級から中級へーその目標と教え方ー
講師：① 松田浩志先生（プール学院大学）
② 亀田美保先生（大阪YMCA日本語学校）
- 3月26日及び27日、「中、上級日本語におけるITと生教材を利用した日本語教授法」の講演及びワークショップを主催しました。協賛団体は国際交流基金JFにほんごネットワークでした。内容は以下の通りです。
講演会
① 『協働的アプローチによる中上級日本語授業』大島弥生先生（東京海洋大学）
② 『ITを利用した日本語の学習と指導』徳弘康代先生（名古屋大学）
ワークショップ
① 『プロセスを重視した協働的作文活動』大島弥生先生（東京海洋大学）
② 『使える言葉を増やす漢字語彙教育一語彙マップとデジタル教材を用いて』徳弘康代先生（名古屋大学）
- 4月10日、第7回香港中高生日本語スピーチコンテストを開催しました。
◎ 会場：油麻地城景国際酒店5楼鑽石廳
◎ 出場者数：暗誦の部14名、スピーチの部10名。
- 5月15日、研究会の第三回総会が行われました。
◎ 香港日本語教育研究会は2007年9月NPO法人非営利団体になりました。2011年度理事立候補者13名があり、定数11名を超えたため、総会において、会員投票によって、11名の理事が選出されました。

- 6月11日、「日本語 Can-Do Statements の活用と応用」ワークショップ
講師：伊東祐郎教授（東京外国語大学）
- 6月18日及び19日、香港地域の2011年第1回日本語能力試験(N3～N5級)模擬試験を実施しました。
- 7月3日、2011年第1回日本語能力試験(N1～N5級)を実施しました。
- 7月30日、高校及び副学士課程の日本語成績優秀者の奨学金と日本研究関係のプロジェクト賞の候補者の面接を行いました。
- 8月19日～8月21日、中国天津で行なわれた「2011年日本語教育国際研究大会」に出席し、「日本語教育国際連携ネットワーク代表者会議」に参加した。
- 9月9日、高校及び副学士課程の日本語成績優秀者の奨学金と日本研究関係のプロジェクト賞の授賞式を行いました。
- 11月20日、香港地域の2011年第2回日本語能力試験(N3及びN5級)模擬試験を実施しました。
- 11月～12月、「2011年香港高校日本語教育実況」アンケート調査を行いました。
- 12月4日、2011年第2回日本語能力試験(N1～N5級)を実施しました。
- 香港地域において2011年度日本語能力試験を年に2回で実施しました。合計の受験応募者数が1万4589人でした。

【理事会】

毎月定例理事会を開き、そこで理事による審議・討論を経て、会の運営等についての決定をしています。2011年度、計11回の会議を行われました。

【月例会】

月例会は従来どおり、毎月第2土曜日(2時～4時)に、香港日本語教育研究会事務所のホールで行っています。講演、ワークショップ、フォーラムなどの形式で行い、2011年度は計8回、参加者は毎回平均35名前後でした。